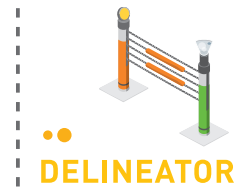


▶ ワイヤロープ式防護柵用ゴム製視線誘導標

KD-100

Rubber Delineator KD-100



✓ 国土研究開発法人土木研究所様との共同出願特許製品

✓ 高耐候性

✓ 衝突時に飛散しにくい



(専用結束バンド2本付)

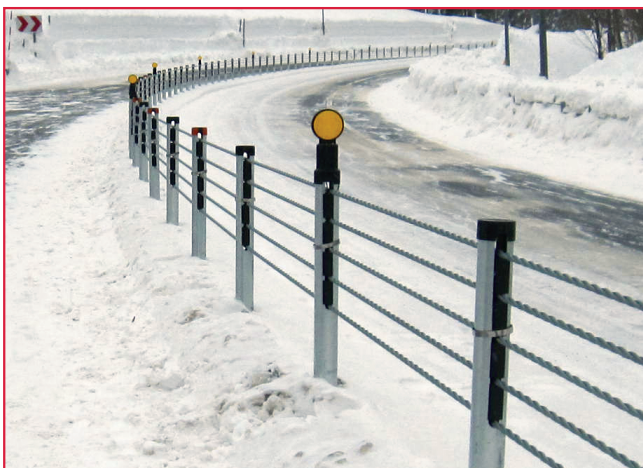
ワイヤロープ式防護柵は車両衝突時に支柱だけが倒れ、ワイヤロープは高さを保持し、そのたわみで車両を元の車線に戻す仕組みです。

支柱上端に取り付ける視線誘導標は、支柱と分離することになりますが、車両衝突時に飛散しないこと、たとえ飛散しても、当事者や第三者に被害を及ぼすことがないことが求められます。

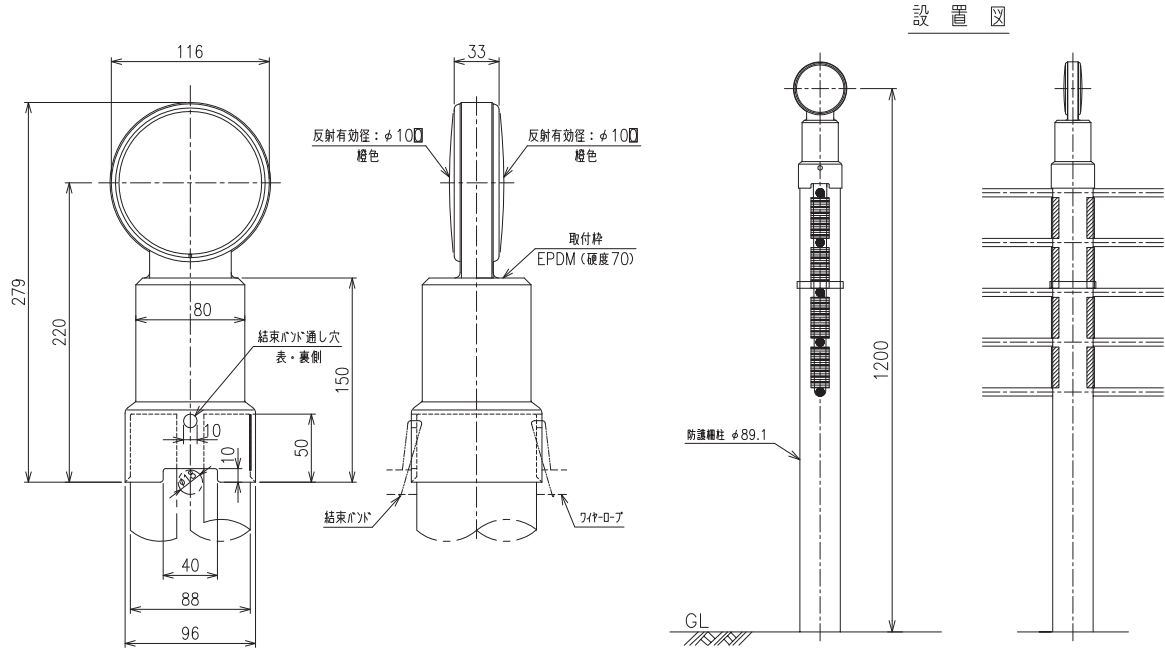
ワイヤロープ式防護柵に車両が衝突しても、二次被害を軽減する弾性視線誘導標を開発しました。

📍 特長

- 上部ワイヤロープから分離しにくい構造
下部に2つの貫通孔を設け、ワイヤロープ最上段に耐候性結束バンド2本で確実にとめるため、飛散を防止します。
- 本製品は耐候性に優れたエチレン・プロピレンゴム (EPDM) 軽量、かつ、弾性に富む合成ゴム製なので、飛散した場合でも二次被害を軽減します。
支柱上部が変形した場合でも、柔軟に追従し、耐熱、耐寒に優れた材質で耐老化性、耐オゾン性、電気的性質に優れています。



標準図



防護柵車両衝突実験におけるゴム製視線誘導標 [平成25年9月 苫小牧寒地試験道路]



●試験車両衝突時の状況



●試験車両衝突時においても飛散しない



●試験車両衝突後の防護柵の状況



●試験車両衝突後のゴム製視線誘導標

※ゴム製視線誘導標は結束バンドのおかげで、飛散せず、衝突車両に引きずられながらも最上段ロープにとどまることが確認された。